

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	防災・安全交付金(交通安全施設等整備事業)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	9	快適で安全・安心な暮らしをつくる
	施策	(2)	犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進
	事業群	②	交通安全対策の推進

作成年月日	令和元年11月27日		
事業所管	土木部	道路維持課	課
	維持補修班	班 (内線)	3144
課(室)長名	馬場 幸治		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 主要渋滞箇所を選定されている交差点において、バス停車帯ならびに右折帯を設置することで交通流動の改善を図り、交通事故の発生を抑制する。									
	<国の主な採択基準> ・交差点における交通流改善のため交通事故減少の効果が十分期待できるものについて実施する事業									
	<負担区分> (%)	<table border="1"> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> </tr> <tr> <td>63.25</td> <td>36.75</td> <td>0</td> </tr> </table>	国	県	地元	63.25	36.75	0	本土	<県費の継ぎ足し> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
国	県	地元								
63.25	36.75	0								

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	①主要渋滞箇所の有無 ②交通事故発生件数 ③他事業との調整
---------	-------------------------------------

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	(一)昭和馬町線(馬町工区)	長崎市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和2年度新規要求箇所評価調書(防災・安全交付金(交通安全施設等整備事業))

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
ショウワウママテ (一)昭和馬町 ウママテ 線(馬町工区)	長崎市	県	R5	交差点の改良を行う。 計画延長 L=50m W=27m	600,000	379,500	198,400	22,100	0	馬町交差点は朝の通勤時に長崎BP方面からの交通が多く、慢性的な渋滞を引き起こしており、交通流動が悪いため、交通事故が頻発している。またバス停車帯が設置されておらず、路線バスによる後続阻害が発生している。よって右折帯ならびにバス停車帯を設置することで交通流動の改善を図り、交通事故の発生を抑制したいため。	・長崎県主要渋滞箇所に選定されている。 ・平成30年度に長崎市より交差点改良の要望がなされている。		A
				測量設計を行う。	30,000	18,975	9,900	1,125	0				
				費用便益比		B/C= -		負担割合	国:県:地元=63.25%:36.75%:00%				
合計					600,000	379,500	198,400	22,100	0				
					30,000	18,975	9,900	1,125	0				

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	防災・安全交付金(交通安全施設等整備事業)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	9	快適で安全・安心な暮らしをつくる
	施策	(2)	犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進
	事業群	③	交通安全確保に向けた通学路等の整備

作成年月日	令和元年 11月 27日		
事業所管	土木部	道路維持課	課
	維持補修班	班 (内線)	3144
課(室)長名	馬場 幸治		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 交通安全事業を実施すべき道路の指定区間のうち、法指定通学路に該当する区間において、歩道のない箇所や歩道が狭く危険な箇所にて地元の協力等、整備条件が整った箇所から優先的に歩道整備を行う。											
	<国の主な採択基準> ・交通事故の防止、もしくは歩行者等の安全で円滑な移動の確保のために実施する事業											
	<負担区分> (%)	<table border="1"> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> </tr> <tr> <td>63.25</td> <td>36.75</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>69.0</td> <td>31.0</td> <td>0</td> </tr> </table>	国	県	地元	63.25	36.75	0	69.0	31.0	0	本土 離島
国	県	地元										
63.25	36.75	0										
69.0	31.0	0										

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	(主)大村貝津線(西部工区)	大村市
2	(国)444号(久良原工区)	大村市
3	(一)日ノ島猿浦線(若松工区)	新上五島町
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	①通学路合同点検プログラムに基づく合同点検の実施有無 ②地元より歩道整備要望有無 ③交通弱者が集まる箇所(小学校、病院、公民館等の周辺) ④既存歩道の有無ならびに既存歩道の幅員 ⑤交通事故件数 ⑥歩行者数(人/日)
---------	--

令和2年度新規要求箇所評価調書(防災・安全交付金(交通安全施設等整備事業))

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業主体	事業完了 予定年度	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
オオムラ カイツ (主)大村員津 線(西部工区)	大村市	県	R6	歩道の整備を行う。 計画延長 L=800m W=2.5m(片側)	300,000	189,750	99,200	11,050	0	当箇所は三浦小学校の通学路となっているが、歩道が狭小な箇所が存在し、通学時に通行車両との接触事故等が懸念される。また、平成30年度に実施した合同点検において、歩道整備が必要とされていることから、歩道整備を行い、歩行者の安全な通行を確保したいため。	小学校・PTA・自治会・警察等との通学路の合同点検で歩道整備要望あり。なお、平成29年度に地元自治会より要望書受理。	A
				測量設計を行う。	30,000	18,975	9,900	1,125	0			
				費用便益比	B/C= -		負担割合	国:県:地元=63.25%:36.75%:00%				
(国)444号 キュウ ラノバル (久良原工区)	大村市	県	R6	歩道の整備を行う。 計画延長 L=680m W=2.5m(片側)	380,000	240,350	125,600	14,050	0	当箇所は萱瀬小学校の通学路となっているが、歩道がなく通学時に通行車両との接触事故等が懸念される。また付近には久良原公民館があり、地元の高齢者が寄合の場として利用している。平成30年度に実施した合同点検において、歩道整備が必要とされていることから、歩道整備を行い、歩行者の安全な通行を確保したいため。	小学校・PTA・自治会・警察等との通学路の合同点検で歩道整備要望あり。なお、平成30年度に地元自治会より要望書受理。	A
				測量設計を行う。	30,000	18,975	9,900	1,125	0			
				費用便益比	B/C= -		負担割合	国:県:地元=63.25%:36.75%:00%				
ヒノ シマサル (一)日ノ島猿 ウラ ワカマツ 浦線(若松工 区)	新上五島 町	県	R4	歩道の整備を行う。 計画延長 L=80m W=2.5m(片側)	100,000	69,000	27,900	3,100	0	当箇所は若松中央小学校の通学路となっているが、歩道がなく通学時に通行車両との接触事故等が懸念される。また、平成30年度に実施した合同点検において、歩道整備が必要とされていることから、歩道整備を行い、歩行者の安全な通行を確保したいため。	小学校・PTA・自治会・警察等との通学路の合同点検で歩道整備要望あり。なお、平成30年度に地元自治会より要望書受理。	A
				測量設計を行う。	20,000	13,800	5,500	700	0			
				費用便益比	B/C= -		負担割合	国:県:地元=69%:31%:00%				
合計					780,000	499,100	252,700	28,200	0			
					80,000	51,750	25,300	2,950	0			

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	防災・安全交付金(道路トンネル補修事業)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	10	にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する
	施策	(3)	インフラの長寿命化の推進
	事業群	①	インフラの戦略的な維持管理、更新の推進

作成年月日	令和元年11月27日		
事業所管	土木部	道路維持課	
	維持補修班	(内線)	5513
課(室)長名	馬場 幸治		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 県内の道路トンネルにおいて、本体工の補修、照明施設のLED化、非常用施設の更新を行う。			
	<国の主な採択基準> 地震発生時もしくは、そのまま放置すると災害を惹起し交通に著しい支障をおよぼすおそれのあるもの			
	<負担区分> (%)	国	県	地元
		63.25	36.75	0
		69.0	31.0	0
		本土		<県費の継ぎ足し>
		離島		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	道路トンネル補修事業	県内一円
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	①損傷箇所の剥落等により、第三者へ被害の恐れがあるもの。 ②老朽化したインフラの計画的・戦略的な維持管理
---------	---

令和2年度新規要求箇所評価調書(防災・安全交付金(災害防除事業))

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
道路トンネル 補修事業	県内一円	県	R6	トンネル補修28路線69トンネル	1,900,000	1,270,750	566,300	62,950	0	法定点検により補修が必要と判定されたトンネルについては早急な対策が必要であるため、ひび割れ対策や剥落防止対策を実施する。また、耐用年数が過ぎたトンネル照明をLED照明に更新し、長寿命化・省電力化を図る。	長崎県道路トンネル事業計画により計画的な事業実施を図る。	A
				設計及び補修工を行う。	380,000	252,195	115,000	12,805	0			
合計					1,900,000	1,270,750	566,300	62,950	0	費用便益比 B/C=-	負担割合	<small>国:県:地元=63.25%:36.75%:00%(本土) 国:県:地元=69%:31%:00%(離島)</small>
					380,000	252,195	115,000	12,805	0			

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	社会資本整備総合交付金(簡易パーキング改修事業)		
長崎県総合計画上の位置づけ	戦略	10	にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する
	施策	(3)	インフラの長寿命化の推進
	事業群	①	インフラの戦略的な維持管理、更新の推進

作成年月日	令和元年 11月 27日		
事業所管	土木部	道路維持課	
	市町道・環境班	(内線)	5515
課(室)長名	馬場 幸治		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 簡易パーキングのトイレ等において老朽化が著しい箇所、優先度の高い箇所において、設備修繕と洋式化、バリアフリー化を行う。			
	<国の主な採択基準> ・道路利用者の円滑な交通に資すること			
	<負担区分> (%)	国	県	地元
	57.5	42.5	0	本土
	69.0	31.0	0	離島
	<県費の継ぎ足し>			<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	本県では美しい長崎県づくりを推進するため、県内主要幹線道路沿線の道路敷等で道路景観の修景や休憩施設として環境整備を行い、道路利用者に供している。これらの多くは設置から15年以上が経過しており、利用者が多いものの快適性と利便性が損なわれており施設によっては設備修繕が必要となっている箇所がある。また、旧基準で整備されていることからバリアフリーも為されておらず円滑な利用を阻害している。さらに、先般の潜伏キリシタン関連遺産の世界文化遺産登録を契機として来訪する観光客、離島において増加するインバウンドに対応した仕様変更を含めトイレ等の改修を行う必要がある。
---------	--

3. 令和2年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	簡易パーキング改修事業	対馬市ほか
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和2年度新規要求箇所評価調書(社会資本整備総合交付金(交通安全施設等整備事業))

<様式2>

(ふりがな) 事業箇所名	市町村名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R2)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R2)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等	総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等			
							県債	一般財源				
簡易 簡易パーキン グ改修事業	対馬市ほ か	県	R4	「簡易パーキング」トイレ改修 5箇所	150,000	93,840	50,500	5,660	0	簡易パーキングの多くは設置から15年以上が経過しており、利用者が多いものの快適性と利便性が損なわれている。また、旧基準で整備されていることからバリアフリーも為されておらず円滑な利用を阻害している。さらに、世界文化遺産登録を契機として来訪する観光客、離島において増加するインパウンドに対応した仕様変更を含めトイレ等の改修を行う必要がある。	・平成30年3月対馬市長より対馬振興局長へ「万関PA」について口頭要望有り(増設及び洋式化) ・平成30年1月南島原市建設部長より島原振興局建設部長へ「権田PA」について口頭要望有り(洋式化及び老朽化)	A
				測量設計 5箇所 トイレ修繕 3箇所	27,000	16,330	9,600	1,070	0			
合計					150,000	93,840	50,500	5,660	0	費用便益比 B/C=-	負担割合 国:県:地元=57.5%:42.5%:00%(本土) 国:県:地元=69%:31%:00%(離島)	
					27,000	16,330	9,600	1,070	0			